

あとむ

姫路科学館友の会会報 第 180 号〈2022 年 09 月〉(友の会事務局発行)

会報180号達成！！

今回で姫路科学館友の会の会報が 180 号となりました。会報のバックナンバーを見ていますと、「姫路科学館友の会は会員の力で発展を！」という見出しを見つけました。この言葉のとおり、1993 年の設立から今日まで、皆様のご支援とご協力で会を運営し、会報を発行してきました。本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願ひします。

また、会報により、新たな科学の知識を増やしていただければ幸いです。

コロナ禍ではありますが、夏休みの初め、科学の屋台村が 3 年ぶりに開催されました。工作や観察などに取り組む子どもたちの姿に、久しぶりに出会いました。楽しく真剣に取り組む姿は、やはりいいものですね。

(友の会会長 上田倫範)

花の歳時記 「ミズヒキ」(タデ科)

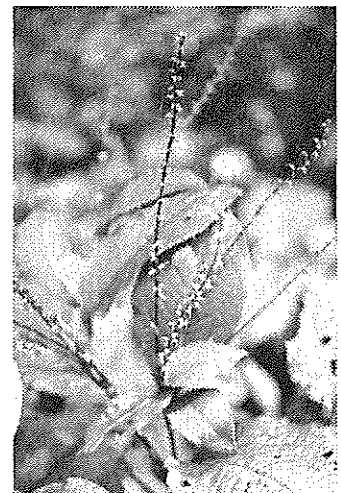
日本全土の草むらや山地の木陰などに自生している多年草です。8 月頃から 10 月頃にかけて、鞭のような長い花枝を長く伸ばして濃い紅色の小花をまばらに咲かせます。その形が祝い事の水引に似ているところからこの名がつけました。小花が白色のものもあり、銀水引(ギンミズヒキ)という名で呼ばれているものもあります。

「かひなしや 水引草の 花ざかり」(正岡子規)

「稗草に をりふし紅くそめゆくは 水引草か 交じりたるらし」(北原白秋)

など、秋を詠んだ俳句や短歌にミズヒキが表現されています。

(友の会理事 古角孝之)



目次

- P1 会長挨拶 (友の会会長 上田倫範)、花の歳時記 (友の会理事 古角孝之)
- P2 地球と生命の歴史 (姫路科学館 学芸・普及担当課長補佐 徳重哲哉)
- P3 気になるムシ (環境科学大阪株式会社 森正人)
- P4 ヤマガラ通信 (姫路科学館専門員・西播愛鳥会 森田俊司)
- P5 「科学の足あと」シリーズ (元姫路科学館 吉岡克己)
- P6 ミュージアムショップから 迷えるお客さまへ
- P7 北海道からのお便り (札幌市青少年科学館 学芸課天文係 福澄孝博)
- P8 科学のタネ (姫路科学館 学芸・普及担当 宮下直也)
館長の科学館だより (友の会常任理事 姫路科学館館長 中川吉郎)